



「きらりと光るまちの人」
SMILE UP!

Vol.16 **九島 美波** さん
 KUSHIMA MINAMI

市のデジタル化推進に取り組むデジタル推進室長

令和3年度4月から内閣府の「地方創生人材支援制度」によって、日本情報通信株式会社（東京都中央区）から本市のデジタル推進室長に着任。デジタル技術を活用し、市民の暮らしの質の向上を図る「スマートシティ」と、行政サービスの向上や業務の効率化を目指す「スマート自治体」推進の牽引役を担う。周囲は縁もゆかりもない場所に行くことを心配したが、不安はなかった。「人と接することが好き。コロナ禍でテレワークになりモヤモヤしていた時に自治体に技術者を派遣する事業を知り、会社から声をかけられました。子育ても落ち着き、初めてのチャレンジでしたが、人の役に立ちたいと思い希望しました。そういった人生があってもいいのかな」と笑顔を見せる。

令和3年度は、総務省の「利用者向けデジタル活用支援推進事業」を活用し、通信事業者と協力して8か所の公民館でスマホ教室を開催したほか、市役所等公共施設4か所に無料でインターネットに接続できるWi-Fiスポットを整備。「スマホ教室は好評で希望者が多く必要性を感じました。また、Wi-Fi整備により図書館でタブレット端末を使い勉強ができる環境が整いました」。この1年、他市の事業を参考にし、目利きができるようになった。今年度はLINEを取り入れた情報発信などを予定している。さらに今後はスピード感を持って取り組み、若者の力を活かして他自治体が取り組んだことのない“山口県初”のことにもチャレンジしていきたいと考えている。

「デジタルはあくまでも手段のひとつ。生活や物が便利になるだけでなく、デジタル化をきっかけに世代を越えて地域がつながり、一人ひとりの気持ちも豊かになり心が繋がるのが何よりも大切だと思っています」

Profile・東京都杉並区出身。成城大学法学部卒業。派遣期間は令和5年3月まで。趣味はゴルフ（10年）。自分との戦いで自己コントロールを鍛えられるところがゴルフの魅力。休日は自然に癒されながらドライブをしたり、須恵の郷で美味しいパンを食べることがお気に入り。花の海で写真を撮ったり、苗を買って家で花を育てるのも楽しみ。

「山陽小野田市は、東京と比べて気候も人も穏やかで時間もゆっくり過ぎていく。物価も安く住みやすい。災害も少なく安心。この街の魅力に住んでいる市民の人にもっと感じてほしい」



▲スマホ教室を開催

えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん
 ①お子さんの写真（プリントしたものまたはデジタルデータ）②お子さんの名前（ふりがな）③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出（郵送、E-mailでも可）



〒756-8601 山陽小野田市役所
 シティセールス課広報係（☎82-1148）



まつむら いしん
松村 一辰くん（6か月）
 パパ！一杯いかが？



まつおか えみか めいか
松岡 笑加ちゃん（3歳）・**明花ちゃん**（6か月）
 今年も笑顔いっぱい過ごそうね☆

